



Pick Up!

# ブックロウの Pick Up コーナー!!

図書館のホームページ  
<http://www.lib.mie-u.ac.jp/>  
から Check it out !!

## 附属図書館ホームページ リニューアル!

2013年の附属図書館 改修工事と同時に  
附属図書館ホームページもリニューアルしました!

- WEBサービス
- データベース etc...

ご利用  
ください!

## これだけは読んでおきたい!! 各学部の先生からのオススメ本

# READING LIST

ブックロウ PICKUP コーナー

READING LIST

人文学部 三根 慎二先生

加藤信哉・小山憲司編訳  
『ラーニング・コモンズ:  
大学図書館の新しいかたち』

勁草書房  
[所在] 図・開架・図書  
[請求記号] 017.7/R 15

ラーニング・コモンズをご存知だろうか?三重大学の環境・情報科学館の2Fと附属図書館1Fにできた新しい空間のことだ。おしゃべりも、飲食もできて、ソファもあって、さらには昼寝もできて...と思っている人は、少し反省してこの本をぜひとも読んでほしい。大学や図書館がどのような意図で、三重大生のためにこうした空間を創ったのかわかるはずである。

教育学部 松本 昭彦先生

齋藤孝 著  
『古典力』

岩波書店  
[所在] 図・開架・PB  
[請求記号] 019.1/Sa 25

いわゆる「古典」を読むにはどのような点を意識して読んで行けばその魅力を十分に味わえるのか、それ以上に、人生の中で役に立つのか。前半で具体例を挙げながら、その実践法を紹介し、後半では著者お勧めの50冊+おまけの50冊が提示される。古典を「教養」を養うものという位置付けを超えて「ツール」と捉えるだけではすでに古い。自らの根源に据えて、「生きる力」の一部にしよう。なお、同じ著者の『読書力』(岩波新書)も有益である。

医学部 浦川 加代子先生

諸富祥彦 著  
『「とりあえず、5年」  
の生き方』

実務教育出版  
[所在] 図・開架・図書  
[請求記号] 159/Mo 77

誰も、自分の死に方を選べない。行き当たりばったりで死ぬしかない。この本は、「もし明日死んでしまおうとしたら」...と日々自分に問いかけながら生きていくことの大切さを伝える。「仮に5年後に死んでも悔いが残らないように、いつ何をしていくか」計画を立て、2週間以内に具体的なアクションを起こす方法を考えさせる。何に価値を見いだし、何を大切に生きるのかを明確にしたい人には役に立つ。

工学部 森 香津夫先生

レイチェル・カーソン[著];  
青樹築一訳  
『沈黙の春』

新潮社  
[所在] 図・開架・PB  
[請求記号] 519.5/C 22

環境問題の原点となる著である。化学物質が自然生態系に及ぼす影響について警告を発している。50年も前に書かれた著であるため、その具体的内容は過去のものであるが、本書が述べる環境破壊に対する警告は現在でも変わりはない。放射能汚染、大気汚染、地球温暖化など山積する多くの環境問題を抱える今、その原点の著として、次代をになう若い世代に読んでいただきたい著である。

生物資源学部 幹 渉先生

尾澤達也 著  
『化粧品科学  
(ポピュラーサイエンス)』

裳華房出版  
[所在] 図・開架・図書  
[請求記号] 576.7/O 97

「化粧品」は、辞書には「顔におしろいや紅などをつけて、美しくすること」と記載されている。しかし、現代では「老化」を抑えて若々しくありたいと願う人間の願望が、生命科学、皮膚科学、物理化学、天然物化学など周辺の科学の進歩に支えられて「化粧品」を変貌させ、従来の定義にはあてはまらないものと化している。本書は、これらの進歩を正面から捉え、いわば「現代の化粧品」について様々な視点から解説している。

共通教育 山本 俊彦先生

文:アンドリュー・グッド  
絵:エマ・クエイ 訳:落合恵子  
『おやすみ、ぼく』

クレヨンハウス  
[所在] 図・開架・図書  
[請求記号] 726.5/D 12

「おやすみ、ぼくのあしさん...」と、昼間、思いきりジャングルで遊んだオランウータンの赤ちゃんが、睡魔に誘われながらも、自分の遊びを支えてくれたからだの一つ一つに、「ありがとう、またあした」と語りかけるという絵本である。「からだづくり」と書く体育であるが、「イチ、ニー、サン、シ」の号令に始まり終わる体育は、鍛え頑張る方向だけが重視され、からだを労わる、からだに向き合い対話するという点を疎かにしている。

※絶版のため、入手困難となった図書があります。学塔掲載図書はすべて三重大附属図書館にあります。